

その他の学生調査報告書

一橋大学附属図書館は、これまで紹介してきた修学旅行報告書の他にも幾種類かの学生調査報告書を所蔵している。代表的なものとしては、内国実践科(実践課とも表記される)に提出された報告書と商業教員養成所の学生による調査報告書が挙げられる。

内国実践科については不明な点が多く、その実像の解明は今後の課題であるが、「内国実践」と「外国実践」で構成される「商業実践」という科目に関係すると思われる。

内国実践科に提出された報告書は本科の3年生全員が作成することになっていたようで、明治31～33(1898～1900)年の3年分しか現存しないにもかかわらず、総数は修学旅行報告書よりも多い。テーマは実務に関するものが多く、税制や個別企業の具体的な会計事務、商品別の売買慣習などが取り上げられている。内容は概ね修学旅行報告書の方が充実しているが、内国実践科に提出された報告書も7点が出版された。

商業教員養成所は商業学校及び商業補習学校の教員養成を目的として、明治32(1899)年に高等商業学校内に設置された。修業年限は2年、授業料は無料で、学資が支給されたが、卒業後に一定期間教職に就く義務が課せられた。

商業教員養成所学生の報告書は、夏季休暇中に出身地域あるいはその近辺で行った調査をまとめたものである。地域密着型の修学旅行報告書に類似した内容を持つ「〇〇県××業調査報告書」というタイトルの報告書が多数を占めるが、中には、商業教育について調査した商業教員養成所の学生ならではの報告書もある。



伊藤麟一郎『株式会社東京株式取引所帳簿及諸書式類用途取調書』



竹内正太郎『関西地方商業教育調査報告書』

2012年11月1日発行
一橋大学附属図書館
〒186-8602 東京都国立市中2-1
TEL : 042-580-8252/FAX : 042-580-8232

※本パンフレットに掲載された文章、写真、図版等の著作権は、特記あるものを除いて一橋大学附属図書館に属します。著作権者からの許諾を得ずに、著作権法の定める範囲を超えて、引用、複写、電子媒体化等を行うことは、禁止されています。